

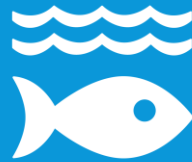


目標14:海の豊かさを守ろう

現在、年間1000万トンを超えるプラスチックごみが海に流入し続けているといわれています。その中でもマイクロプラスチックという5mm以下の微細なプラスチックが問題になっています。

マイクロプラスチックは、自然分解がされず、すごく微細なため、海底に蓄積したり、浮遊する袋などをウミガメやクジラなどが誤飲し、消化できずに体内に溜まり、死に至ることもあります。食物連鎖の頂点に立つ人間、その人体への悪影響も懸念さ

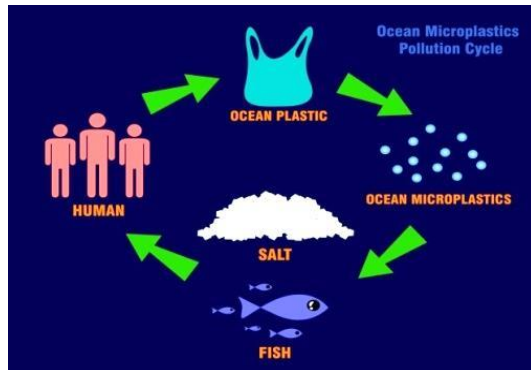
14 海の豊かさを守ろう



れており、深刻な社会問題となってきました。また、海洋生物からだけではなく、水道水からも検出された事例も出ています。(；▽；)

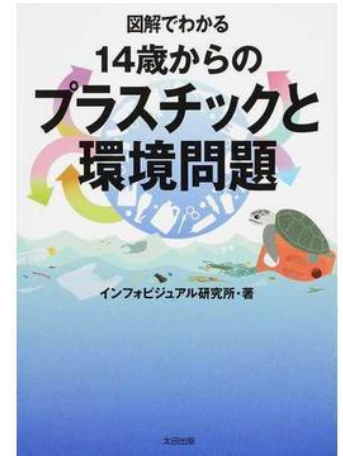
近年、マイクロプラスチックへの取り組みは進んでおり、EUでは、プラスチックリサイクルの経済性と品質の向上を図ったり、プラスチック

廃棄物と海洋ごみ量の削減に取り組んでいます。またアメリカやアジアでは、プラスチックを再利用する取り組みや、輸入規制を行ったりと、脱プラスチックの動きが、国際的に加速しています。私達一人ひとりの行動も大切です。例えば、買い物に出かける時などに、マイバッグやエコバッグを持参するだけで、無駄にプラスチック廃棄物が出なくて済みます。



右の本には、様々なイラストやグラフ、写真などが、多く掲載されており、わかりやすい易しい文章で書いてあるので、本を読むのが苦手な人でもあっても、またプラスチック問題に興味があるけども、難しそうだし、どの本を手にするか悩んでいる人にもは、ピッタリな本だと思います。

この本は、図書室にあります。どこの書棚にあるのか本の場所がわからない人は、カウンターにいる図書部員に尋ねてください。ぜひ、読んでください。



良い事と悪い事

文明の進歩は良い事ばかりではなく、環境破壊という問題が起こり、人間以外の生き物にも影響を及ぼしていると思いました。手軽で便利なものが普及し私達の生活が楽になると、自己チューになり、些細なことに配慮しなくなっていると思います。例えば今回取り上げたプラスチック問題、人間の愚かな行いのせいで、小さな生き物たちに被害が及んだりしています。人間は好き勝手やっていたいわけではなく、後々の人々の為にも地球を守るということをしっかり視野にいれて行動しなくてはならないと思いました。

文責:1-3 N.Y